

授業科目	カウンセリング論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21412J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2 DP5-2			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>近年、高度情報技術の飛躍的発展がもたらした社会構造の急激な変化の中で、カウンセリングへの期待が大きくなってきている。カウンセリングでは、セラピストとの関係性に支えられたプロセスの所産としてクライアントの自己理解と問題解決にかかわり、その過程を援助することができる。</p> <p>本講義では学生相談室や高齢者施設における心理臨床経験をもつ実務家教員として、担当者が現場で身に付けてきた知識や技術を用いて、カウンセリングの構造とそのプロセスについて解説する。具体的には以下の三点について解説する：</p> <p>①カウンセリングの基本構造 ②カウンセリングの基本的な流れと各段階におけるクライアントとカウンセラーの課題 ③カウンセリングの各段階に適した技法と留意点</p>							
学生が達成すべき行動目標	1. カウンセリングの基本構造について説明できる。(DP1-2、5-2) 2. カウンセリングの段階とプロセスについて説明できる。(DP1-2、5-2) 3. クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について説明できる。(DP2-1、5-2) 4. カウンセリングの特徴とその有用性について検討することができる。(DP3-2)							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			24				24	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			22				22	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			30				30	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			24				24	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>カウンセリングの基本的知識をよく理解し、カウンセラーとクライアントの特別な関係について他者に説明することができる。</p> <p>カウンセラーの立場、クライアントの立場を理解し、それぞれがカウンセリングで直面する課題について他者に説明することができる。</p> <p>日常場面において、カウンセリングの技術を応用することができる。</p>				1. カウンセリングの基本構造について説明できる。 2. カウンセリングの段階とプロセスについて説明できる。 3. クライアントの状況に合わせたカウンセリングの技法について説明できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: オリエンテーション・カウンセリングとは カウンセリングとは何か、クライアントとカウンセラーについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
2	テーマ: カウンセリングの構造 カウンセリングの構造、面接の契約について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
3	テーマ: カウンセリングにおけるクライアント カウンセリングにおけるクライアントの活動のプロセスについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
4	テーマ: カウンセリングにおけるカウンセラー カウンセリングにおけるカウンセラーの活動のプロセスについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
5	テーマ: 関係調整と自己開示の段階1 カウンセリングに来るまでのクライアントの心理と、インテーク・初回面接での対応について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
6	テーマ: 関係調整と自己開示の段階2 カウンセリング開始後のクライアントの心理とカウンセラーに必要な能力について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
7	テーマ: 自己定位と自己探索の段階1 カウンセラーとの関係ができてきた段階でのクライアントの心理と、基本的共感、プローブとプロンプトについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
8	テーマ: 自己定位と自己探索の段階2 焦点化、問題の探索と明確化、要約、この段階でのカウンセラーの心得について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
9	テーマ: カウンセリングにおけるアセスメント アセスメントの視点、理論的枠組み、注意したいことについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
10	テーマ: 自己直面化の段階 自己理解の促進の難しさ、支援方法、この段階で気をつけるべきことについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
11	テーマ: 目標設定と行動調整の段階 目標設定のための援助、実行計画作成のための援助、スケジュール作成のための援助、実行のための援助について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
12	テーマ: カウンセリングの終結の段階 いろいろな終結の形態、カウンセリング過程の点検、事例研究について解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
13	テーマ: カウンセリングの応用1 日常の相談において「よき理解者」となるためのスキルについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
14	テーマ: カウンセリングの応用2 日常の相談において「よき判断者」となるためのスキルについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
15	テーマ: カウンセリングの応用3 日常の相談において「よき助言者」となるためのスキルについて解説する。	講義 小レポート	復習: 該当部分の復習	30
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	『臨床心理学概論』を受講していることが望ましい。			
テキスト	特になし。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『カウンセリングプロセスハンドブック』 福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房 (2004) 『新しいカウンセリングの技法—カウンセリングのプロセスと具体的な進め方』諸富祥彦著 誠信書房 (2014) 『身近な人のよき理解者・助言者となるために 相談の心理学』福島脩美著 金子書房 (2011) その他、適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義中に提示された参考図書、カウンセリングに関する文献を読むことが望ましい。 『カウンセリング演習』(4年後期)を履修したい者は、『カウンセリング論』の単位を習得しておくこと。			
達成度評価に関するコメント	レポート及び小レポートの内容については、講義の中で指示をする。 授業への積極的な参加を求めます。			

